

板橋民商だより

第61期
第01号
2020年
07月27日
(月曜日)
TEL 03-3963-8421
FAX 03-3963-9329
板橋民主商工会
板橋区双葉町36-6-3F



板橋民商第61回総会を開催

7月16日にあーちぶらざ5階にて板橋民商の第61回総会が開かれました。コロナ禍で時間規模を縮小しての開催となりました。役員代議員30名中23名76.7%が参加。本期の活動方針と予算決算、新役員体制一部規約の変更が満場一致で採択されました。執行役員に新たに3名が加わりました。

総会では、税務調査を民商の仲間と乗り切った経験や、プロが教える豆知識として地域に根差した取り組み「あきんどゼミ」の報告や、会員同士が普段から「ミニケーション」が取れるような組織づくりの経験など発言がありました。



△「国家賃支援給付金申請に時間がかります」
家賃支援給付金の受付が開始され、民商にも多くの方が申請に訪れています。申請はインターネットのみです。パソコンでの入力項目が非常に多く、時間を要します。本紙裏面に掲載しております「家賃支援給付金入力書」に必要な事項をあらかじめ記入してお持ください。相談会ではお待ちいただく可能性もございますので、「こ」了承ください。

また、申請には持続化給付金で用意した資料のほかに賃貸借契約書と直近3カ月分の家賃支払いを証明できる書類が必要になります。これらの書類が用意できない場合は特例もありますので、事前に「ご連絡ください」。申請の相談会は予約必須です。

△「東京都家賃等支援給付金の支給 440億

東京都は、新型コロナウイルス対策に関連して、国の補正予算の対応や、都独自の取り組みを進めるため、総額3132億円の補正予算案を発表。新型コロナの影響により売上が減少した中小企業等の法人及び個人事業主を対象として、国家賃支援に係る給付の度合に応じて上乗せをする「東京都家賃等支援給付金」に440億円を計上しました。申請受付の開始は7月下旬を見込んでいるとのことです。申請要領等、詳細は分かり次第本紙でもお知らせします。

さんまの塩焼き

武田 仁 板橋民商サポート

さんまの塩焼きが好きです。田舎にいた頃、火鉢に火をおこし、煙をもうもうと出して焼いたさんまを骨一本だけ残して食べた記憶が昨日のようです。

先日魚定食を食させてくれる店で、食ったさんま定食は950円もしました。それも生さんまではなく冷凍さんまでした。美味しいさんま定食が食たと言ったら、女房がさんまを焼いてくれました。でも半焼き。そうなんですが、女房は函館出身で、魚は私から言えれば刺身に近い焼き方で、美味しく食べる派。私はさんまだらたら腹も食れるくらい、しっかり焼いて食べる派。少しけだらたら皮までしっかり食るのが私で、女房は皮をしきり残して食います。40年以上も夫婦でいるのに、今も魚の焼き方でけんか寸前です。

また、板橋区の区民検診がコロナウイルス感染症の影響で例年より2カ月遅れ、8月17日から11月30日までの実施となりました。これに伴い、受診券の発送は8月5日水曜日から開始となる見込みです。

板橋民商共済会が取り組む日曜検診を8月23日㈰に開催します。日曜検診は国民健康保険後期高齢者の方は、区民検診の利用で無料。社会保険無保険の方は、共済会が実費の半額を補助します。当日はマスクの着用や、体調のすぐれない方は無理せず様子を見ていただくようご協力お願ひいたします。詳細は会員のみなさまに別途申込用紙をお送りしますのでご確認ください。

また、板橋区の区民検診がコロナウイルス感染症の影響で例年より2カ月遅れ、8月17日から11月30日までの実施となりました。これに伴い、受診券の発送は8月5日水曜日から開始となる見込みです。